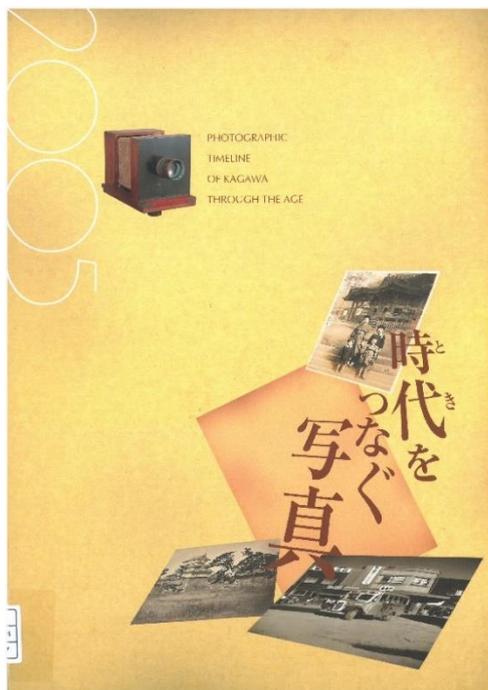


時代をつなぐ写真



香川県は、全国的に見て早い時期に写真が復旧した場所ではなく、これまで日本の写真史の中で注目されてきたわけではありません。しかし、この展覧会を開催するにあたり調査を進めたところ、万延元年(1860)にアメリカに渡った咸臨丸乗組員や文久 2 年(1862)幕府がオランダに派遣した留学生の写真など、日本の歴史の中でも貴重な資料が県内に現存していることが分かりました。

本展覧会では、写真が日本に伝来してから、香川県に普及し、人々の生活の中に定着していく過程をたどります。また、今回の調査で明らかになった多くの資料をはじめ、新しく発見された高松城および城下の写真など、明治から昭和 40 年代まで、県内で撮影された写真の中に遺された香川の出来事や風景、暮らしの様子を紹介します。これらの写真を通して、香川の歴史像がより豊かになれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本展覧会を開催するにあたり、貴重な資料を快くご出品くださいました所蔵者の方々をはじめ、写真の所在情報をお寄せいただき、調査にご協力くださいました方々に心より御礼申し上げます。

(あいさつから抜粋)

平成 17 年 10 月 香川県歴史博物館 北原 和利

(7101167661)